

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスkai
実施日：2026年3月4日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別支援型デイサービスとして適切な人数とスペースである
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用者の安全と療育の機会を担保する配置人数である
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入口に段差や坂があり、トイレに手摺りが無いが、職員の介助で車椅子ユーザーも利用できている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			情報共有システムにてスタッフ同士が常に報告や相談を実施しており、定期的に全体会議を行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			全保護者よりアンケートをいただき、ご意向を支援に生かせるように全スタッフへ共有されている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人HPにて公開するとともに、保護者へ送付している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			法人監査及び、理事会、社員総会にて業務内容に対する外部評価を行い、事業計画に反映させている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			アドバイザーが定期的な研修を実施し、常時相談できる仕組みになっている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者とは常にSNSで状態や課題の情報共有をおこない、担当者が詳細に記したアセスメント記録
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			クラウド内でアセスメントを管理しており、全スタッフが使いこなせるように研修している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当チーム員同士が集約された情報を共有しやすいシステムを実施している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別支援型の利点を生かし、本人の様子や成長具合で臨機応変に取り組みを変化させている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日の昼間は不登校児童や通信制の高校生が通い、休日や長期休暇時には複数名で取り組めるプログラムを提供している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			状況に応じて個別支援から集団へ、集団活動から個別へと、本人や保護者へ丁寧に必要性と計画を説明して促している。結果、2事業所の併用で幅広い経験を提供できている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず支援前に前回担当したスタッフの記録を確認し、分からないことは管理者かアドバイザーに質問をする仕組みになっている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		個別支援のため振り返りと記録は担当者のみで行い、気付いた点等は管理者や児童発達支援管理責任者と共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回支援後に取り組み内容を記録し、気付いた点はアセスメントへ残し、定期的に担当チーム員同士で支援計画を見直している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			生活リズムや学校生活が不安定な場合は毎月のようにモニタリングを実施し、安定している利用者とは半年毎、或いは一年毎に支援計画を見直している
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインを意識して支援計画を立て実施している	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必ず児童発達支援管理責任者と担当スタッフが出席している	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要性のある利用者の場合は積極的に実施しているが、高校生（特に通信制）は行っていない
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			メンタルクリニックや総合病院などの担当医と電話連絡や、受診時に同席させていただき正確な情報を共有した上で適切な配慮を行っている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				小学生高学年からの受け入れデイのため、就学前の関係機関とはやりとりが無い
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			福祉的就労や訓練機関へ繋がる卒業生が多く、移行期のみならず適宜詳細な情報を提供している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		発達障害者支援センターが実施する学習会には積極的に参加しているが連携はしていない
	㉖	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		日程調整の困難さでたくさんの交流は無いが、地域の図書館と連携し、幼児向けイベントのスタッフ体験をさせていただき交流できている
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		会議には参加できていないが、協議会の企画には積極的に協力しており、見学を受け入れている
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			SNSで報告と相談を気軽に行えるようにしており、定期面談と臨時面談で共通理解に努めている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		定期的な保護者会の実施、進学や就労の情報提供会の開催、個別の面談などで助言を行い、一定数の保護者には支援の成果を実感できている
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳しく説明を行い、後から確認ができるようにしおりをお渡ししている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		ご相談にはしっかりと時間を確保して、療育の観点から福祉事業所としての助言と支援を行っている、しかし助言が子育ての悩みに対して適切かは判らない
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的な保護者会の実施、進学や就労の情報提供会の開催を行っている
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			整備した体制を契約時に説明し、重要事項説明書に記載している 苦情に対してできる限りの対応をした
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月発行、郵送している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			紙資料は鍵付きキャビネットにて保管、クラウドはパスワードを設定
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			マンツーマン支援のため本人の気持ちや様子を把握しやすく、保護者とは常にSNSやお迎え時に情報を共有している
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			不要品の交換会「わらしべ市」を毎月開催し、地域や行政のイベントにボランティア参加をして交流が広がっている
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員へは入職時に、保護者へは利用契約時に説明を行っている
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			ミーティング時にマニュアルの共有をし、利用者には個別で避難方法の確認と実践をおこなっている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
非常時等の 対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		ミーティング時に情報共有をしているが、十分ではない
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	職員への周知は行っているが、本人や保護者への説明は実施しておらず、サービス計画に記載していない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの情報を共有している 食事提供を行っていない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月、各職員が1か月を振り返りヒヤリハットを記録し、その内容を月例ミーティングで共有している。事例集は作成していないが、各プログラムで起きたトラブルや課題は以降に引き継がれていくシステムになっている